

04・薬漬けにされて、指一本動かせないまま犯される

『03・【耳舐め】脳を溶かす魔女のおまあま耳舐め』からそのまま続き。
十一月上旬。時間帯は十七時近い。天気は曇り。外の気温は十三度程度で、部屋は暖かい。

主人公は、キヤバシティを超えるほど気持ちよかつたのだろう。

ベッドの上で涙で目をぐちやぐちやに濡らして、苦しそうに甘く息を吐き、ぐつたりしている。

サリアが主人公に触れたのは、麻酔の特性を十分に發揮させるためだ。
だが、これにも手順がある。

まず、いきなり露骨な性感帯を攻めたら、刺激が強すぎて心が壊れる恐れがあつた。
かといって、優しく手を握ったり、抱きしめたりするだけでは性的快感は得られない。
さらに、主人公の理解を得るために逐一説明したり、時間をかけてリラックスさせて、
ゆっくり気持ち良くなりしたりするという、時間的余裕もなかつた。

主人公が意識を取り戻した瞬間から、いつ精神崩壊が起きるかわからないという危険性があつたからだ。

結果、サリアは苦肉の策として耳に触れたのだが、間違つてはいなかつたらしい。

サリア、自分が人とろくに手をつないだ事すらない、当然性経験なんて一切ない処女で、よかつたと思う。

見る限り、主人公は正気を保っている。

自分のつたない愛撫だからこそ、この程度で済んだのだ。

それがなんだか情けなくもあるが……今はこれでよかつたと思おう。

サリア、主人公が落ち着くのを待つてから、優しく話しかける。

● 中央　至近距離

「優しく、甘つたるくからかう」

んく大丈夫？　いっぱいされてビックリしたね♥　大丈夫。怖くないよ♥

【とても優しく、ゆっくりと】

さつきも言つたでしょ？　あなたは何にも悪くない。

だつてあなた、ずっとエロい事なんかできる状況になかった。

普通の女の子らしい暮らしさえ我慢してたでしょ？

そんなとこにこんなヤバい快樂、

【『どぶつ』をわざといやらしく言う】

どぶつて注ぎ込まれたら。あつさり屈しちゃうのもしようがないです♥

【すごく優しく言い聞かせる】

いいんです。負けちやうのはあなたせいじやありません。

ぜーんぶ世界と、あたしと、お薬セツクスがいけないんです♥

サリア、再び主人公の左耳に唇を寄せる。

●●左 【※マークのセリフ終わりまでささやく】

【すごく優しくささやく】

だつて、ずつと思つてたでしよう？ もう頑張りたくない、樂になりたいって。
ただ横になつてるだけで全部してもらえて、気持ちよくなりたいって。

【ゆっくりと落ち着いたトーンで、淡々としているくらいにささやく】

だからあたしがしてあげます。全部解決です。よかつたですね？」

※

サリア、主人公の正面に向き直る。

●中央　至近距離

「【額に軽く一回だけキスする】

ちゅ
♥

【すこく優しく】

あたしはあなたのためになら、何でもしますから。

【優しく笑う】

ふふ。お耳ペロペロ気持ちよかつた？

じゃあ、もつとしながら、今度はおっぱいも気持ちよくなりましようね。

【わざと大きめに音を立てて、唇に軽く一回だけキスする】

ちゅっ♥」

S E 1 .. サリアがベッドの上で動く音

【最初から最後まで流す】

サリア、再び主人公の右耳を舐めながら、胸を触る。

●右 耳舐め

☆【右耳を ※10秒※ 舐める。

優しく丁寧に、浅めに舐める】☆

ん……くちゅつ、ちゅぱつ。れろつ。ちゅるるつ……くちゅつ。

●右 【※マークのセリフまでささやく】

【ゆっくり、少しいやらしくささやく。乳首をさして言っている】

ほら。もうこんな膨れ上がつてんじyan。可愛い。※

●右 耳舐め

☆【右耳を ※10秒※ 舐める。

さつきよりも少ししつかり奥まで舐める】☆

んくつ……ちゅぱつ。ちゅぷつ。くちゅつ♥ れろつ♥

●右 【※マークのセリフまでささやく】

【ゆっくり、少しいやらしくささやく】

無理やりされてんのに♥ ちゃんとおつきできんだね♥ 乳首。※

●右 耳舐め

☆【右耳を ※10秒※ 舐める。

いやらしく、少しだけ大きめに音を立てて舐める】☆
んうつ……れるつ。じゅぶつ、くちゅつ♥ ちゅるつ♥

●右【※マークのセリフまでささやく】

【ゆっくり、少しいやらしくささやく】

ちゃんといじめてあげないと、収まりつかなそうですね？
【右耳に優しくキスする】

※

ちゅつ

サリア、主人公の正面に向き直る。

●中央至近距離

「こうやつてさ。おっぱい両端から持ち上げるみたいにすくつてさ。

先つぼ。両方とも親指で押すみたいに転がしてさ。

【優しくからかう。乳首が硬くなつたので嬉しい】

あく硬くなつてきた♥

【『それで』と『きゅつ』の間で一呼吸置く】

それで。きゅつてつまむの。気持ちいいね♥

【わざと音を立てて乳首にキスする】

じゅるるるつ……ちゅつ♥

サリア、右側に戻つてささやく。

●右【※マークのセリフ終わりまでささやく】

「優しくからかう」

これでおっぱいも悪戯されちゃいましたね。

大切な身体、こんな風に汚されて悔しいですね
でも気持ちいいんだよね♪♥」※

サリア、主人公の正面に向き直る。

●中央 至近距離

「少し意地悪にからかう

きやは。その顔ヤバ♥ よっぽどいいんですね♥

【少し間をあけてから。優しくなる】

可愛いです。大好きですよ。もつとよくなりましょうね♥

【乳首をくわえる】

ん……♥

●中央 下

☆「左胸を ※30秒※ ぴちやぴちや吸う。

丁寧に、優しく、音を立てすぎないように吸う】 ☆☆☆☆☆

ふ……びちやつ♥ ちゅぷつ……ぺろつ♥ んつ……くちゅつ♥ ちゅるるつ♥

ちゅぱつ♥ ぺろつ……♥

【右胸をさして】

こつちもしてほしい?

☆「右胸を ※30秒※ びちやぴちや吸う。

同様に、丁寧に、優しく、音を立てすぎないように吸う】 ☆☆☆☆☆

ちゅぱつ……びちやつ♥ んつ……ふ……れろつ♥ ぺろつ♥

ちゅるつ……ちゅくつ……ちゅる……ちゅぱつ♥

【優しくからかう】

あはは、びくびくしてる。刺激強すぎた?

【右の乳首に一回だけ軽くキスする】

ちゅつ♥

【少し間をあけてから】

見て下さいよ。あなたのおっぱい、白くて柔らかくて、あんなに綺麗だったのに。
あたしに好きなようにされて、ひどい事になっちゃいました。

〔甘く優しくからかう〕

こんな事されて、もうお嫁に行けないね♥ あたしがもうから安心していいよ♥

☆【左胸を ※15秒※ 吸う。

先ほどよりも少し音を立てて、熱心に吸う】 ☆☆

ちゅぷつ……れろつ♥ くちゅつ♥ ちゅるるつ♥ ペろつ♥

〔主人公の反応がいいので〕

ん？ 濡れた乳首舌でいじられるの、そんなにいいの？
こう？

☆【右胸を ※15秒※ 祇める。

先ほどよりも少し音を立てて、熱心に吸う】 ☆☆

んんつ……ちゅぱつ♥ れろつ……♥ ちゅるるつ♥ ペろつ♥ れろつ♥

〔くわえたまま話す】 ※セリフが聞き取りにくくなつてもOKです

あいてる方はつねつてもらうのがいいんだ。こんな？

〔主人公の反応がとてもいいので〕

あは♥ 可愛い♥ もしかして♥

こんな風に両乳首くーって引っ張られて、ちょっと強めにつままれるのがいいの？

〔少し意地悪にからかう〕

マゾだな♥

【思わず本音が漏れる】

可愛い。

【わざとゆづくりめに言つて言い聞かせる】

勇者様はいじめられるのが好きなマゾっ子だつたんですね
好きですよあたしそういうの♥』

S E 2 .. サリアがベッドの上で動く音 2

【最初から最後まで流す】

【少し音量を小さくして流す】

サリア、主人公の顔へ顔を近づける。

● 中央 至近距離

【額に一回だけ軽くキスする】

ちゅ♥

● 左 【※マークのセリフまでささやく】

【※マークまで、恋人のようにすこく優しく、ゆづくりささやく】

これから色々教えて下さいね？ あなたの気持ちいい事。

あたしはあなたのご主人様なんですから。

奴隸ちゃんの事、性的に満足させてあげなきやなんで ♥

ほら。お胸さつきのやり方でいっぱいじつてあげますから。

お耳も気持ちよくなつとこ? ※

● 左耳舐め

☆ 「左耳を ※30秒※ 舐める。

優しく、丹念に、じっくり舐める】 ☆☆☆☆

べろつ……ちゅるつ。ひちやつ。くちゅつ♥ べろつ……れろつ……ちゅぶつ

ちゅぱつ……ちゅつ♥ ちゅつ♥ ちゅつ♥

● 左 軽く吹く

[軽く吹く]

ふつ♥

● 左 至近距離

ふふ。お顔とろとろんなつたね♥ 可愛いですよ♥

【股間をさして言つて いる】

そんできあ、ドMの勇者ちゃんのここはさ?」

SE3..サリアが主人公の股間に触れる音1
【最初から最後まで流す】

●左 【※マークのセリフまでささやく】

「少し意地悪にからかってささやく」

あ~やつぱり♥ とつぐにぐちやぐぢゃに濡れてんじやん。

【ひとつ前のセリフとのギャップを意識して、すごく優しくささやく】

ずっと触つてほしかつたでしょ?

【一呼吸おいてから】

いやいや、こまかせてませんから。

【からかわずに優しくささやく】

いいんですよ。自然な反応ですから。

【ここから※マークまで一言一言、意地悪に、でも優しく言い聞かせるようにささやく】

無理やり薬漬けにされて。エロい衝動抑えられなくなつて。

おねだりしちやうのは当たり前の事です。

勝手に感じる身体にさせられて犯されてるんだもん。

あなたは何にも悪くないんですよ♥』※

サリア、中央に移動する。

● 中央 至近距離

【瞼に一回だけ軽くキスする】

ちゅつ。

【すこく優しく】

ふふ。ちょっと身体起こしましょうか

SE4..サリアが主人公を抱き起こす音

【最初から最後まで流す】

サリア、主人公を後ろから抱きしめて、左耳側に自分の頭を置く。
左耳に話しかけている形になる。

● 左 至近距離

「ん……。はい、できました。

【耳に一回だけ軽くキスする】

ちゅつ♥

【優しく。愛しくてたまらないという感じで】

ふふ。その顔エロすぎ。

【ゆっくりと説明する】

こうやつて後ろからぎゅっしてますから。あたしと密着えっちしましようね。

●左 軽く吹く

【軽く吹く】

ふつ♥

●●左 【※マークのセリフまでささやく】

【静かにささやく】

ねえ。こうやつて左側から話しかけられるとさあ。

なんか思い出しません？ 妖精さんは、いつも左側にいたもんね。 ※

●左 至近距離

あれさあ……。

【言いかけてやめる】

いえ。何でもないです。

【耳に一回だけ軽くキスする。キスしてごまかす】

ちゅ♥

●左 至近距離

【ここから※マークまで、優しく真剣に。ゆっくりめに】
ねえ。大好きですよ。

あなたは、勇者である自分にしか価値がないと思っていたかもしませんけど。
そうじやないよ。

あたしは。あたしだけは、どんなあなたでも好きです。

あなたがどんな人でもいい。そばにいてくれればそれでいいんです。
絶対に見捨てません。

【少し間をあけてから】

だからあたしのになつて下さいよ。

全部捨てて、あたしの可愛い奴隸ちゃんになつて下さい。

【ひとりわ眞面目に】

ね？」※

サリア、主人公の顎を優しく持ち上げて、こちらを向かせる。
そのままキスする。

●中央 至近距離

☆【※15秒※ キスする。

浅いキスを何回も繰り返して、だんだん深くなっていく】 ☆☆
ん…… ♡ ちゅつ ♡ ちゅつ、ちゅつ ♡ ちゅる…… ちゅつ ♡

【真剣に】

好きだよ……。

☆【※15秒※ キスする。

さつきよりも深いキスになる】 ☆☆

ちゅ…… ♡ ちゅるつ ♡ くちゅつ…… ちゅ ♡ れろ…… ちゅつ ♡

【少し間をあけてから。さつきの真剣な告白なんかなかつたように振る舞う】

くふ。勇者ちやんの舌、ちつちやくて可愛い ♡

んじや。そろそろ楽になつときましょうか。ちゅーしながらクリイキしよ?

【唇に一回だけ軽くキスする】

ちゅ ♡」

SE5 ..サリアが主人公の股間に触れる音2

【最初から最後まで流す】

【小さめの音量で流す】

【途中から一段階速度と音量が上がる】
【後半からはさらに一段階速度が上がる】※ここは音量は上がりません。※
【規定の位置まで繰り返して流す】

サリア、また左側から話しかける。

●左 至近距離

「どろどろに濡れた股間をさして言っている」

うわくどろつてしてる。エロいな勇者ちゃんは。
クリ、がつたり勃起してるし。

●左 【※マークのセリフまでささやく】

「優しくリードするようにささやく」

ぬるぬるつけて、いっぱいこすつたげる。痛くしないから安心して？

●左 至近距離

【ふと思い出して。意地悪な印象にならないように】

あくそーだ。おつきしたのはクリちゃんだけじゃないですね。
こっちの乳首もいじつたげるから安心しろ？

●左【※マークのセリフ終わりまでささやく】
〔優しくリードするようにささやく〕

コリコリのここ、いっぱいきゅーきゅーしますからね。
ふふ。気持ちいいとこ、二か所一緒にされて気持ちいいね♥
ふふ」※

サリア、また主人公の顎を優しく持ち上げて、こちらを向かせる。そのままキスする。

●中央至近距離

☆「【※30秒】キスする。

丁寧に舌を吸つて、めろめろにさせるディープキス】☆☆☆☆☆
れろつ……ちゅくつ♥ちゅるるつ、れろつ♥んくつ……ちゅ♥
れろ……♥んつ♥ちゅる、ふつ♥

【唇離すときに音を立ててちゅつとする】

ちゅつ♥

【甘ったるくからかう。陰部がとても濡れている事をさして言っている】
ふふ。すご。どんどん溢れてくる♥
そんなにいいの？ よしよし♥

【優しく。主人公がすごく感じるところを見つけて】

あ。ここね？ ここがいいんだ。わかった。いっぱいしてあげる。

☆【※15秒※ 呼吸だけをする。

ゆっくり、興奮した様子で息を吐きながら、時々優しく、くすくす笑う】 ☆☆
はあ……はあ……はあ……♥ ふふ。はあ……はあ……♥

※ここでSE5の速度と音量が一段階上がる。

【※マークまで、一行ずつ、優しく、ゆっくり言い聞かせる】

すごい音してるね。

勇者ちゃんは今、こんなエロい音立てながら。

好きでもない女にお股すりすりしてもらつてイきそうになつてるんだよ♥
悔しいね。でも、気持ちいよね♥ ※

☆【※30秒※ 呼吸だけをする。

ゆっくり、優しく、主人公を気持ちよくする事に集中している。

時々くすくす笑う】 ☆☆☆☆☆

はあ……はあ……ふう。ふふ。はあ……はあ……ふふふ。はあ……はあ……

サリア、また左側から話しかける。

●左【※マークのセリフ終わりまでささやく】
「[ゆっくり、優しくリードするようにささやく]
どれ。そもそもイキそう？　いいよ。じゃあ、ゆっくり十数えてカウントダウンしそう
か。

ちゃんと、ゼロのところでイケるかな？

【すごく優しくささやく】

ちょっととこするの早くするね？　イキやすいように、足広げてあげる。

※ここでS E 5の速度がさらに一段階上がる。

【すごくゆっくり、優しく一つずつささやく】　※正確な十秒には全くならなくてOKで

す

じゅーう。
きゅーう。
はーち。
なーな。

ろーく。

こーお。

●左 軽く吹く

【優しく、軽く吹く】

ふつ
♥

【すご~く優しくささやく】　※正確な十秒には全くならないでOKで

す

よーん。

さーん。

【すご~く優しくささやく】

後ちょっととだよ。

にーい。

いーち……。

【すご~く優しくささやく】

大好きだよ。

【わざと少し間をあけてからささやく】

ぜーろ♥」※

※ここでSE5がフェードアウトする。

SE6..サリアがベッドの上で動く音3

【最初から流す】

[0~10秒ほどまで流してフェードアウトする]

●左【※マークのセリフ終わりまでささやく】

「[ゆっくり、あやすようにささやく】

ん……♥ よくできました♥

犯されてイッちゃったね♥」「※

SE7..サリアが主人公の背中を優しく叩く音

【最初から最後まで流す】

●左【※マークのセリフまでささやく】

「[ものすごく優しく。聞き手に、何か理由があつて無理やり抱いたらしい事を察させる] よしよし。これでもっと楽になるからね。

【優しくからかう】

イッた後つて、身体とろんつてなるじゃん?

【すごく優しく】

それがあなたを守ってくれますからね。

※

●左 至近距離

【少し間をあけてから】

よしよし。じゃあち ょつと休みましようか。

●左 【※マークのセリフまでささやく】

【優しくささやく】

明日からもずっと。ずっとあたしとエロい事しましようね。大好き。愛してるよ。

※

ちゅっ」

このままフェードアウトして終了。